

令和5年度第3回 感染症発生動向調査部会

令和5年6月21日

月番：澤田 明

1 前月の感染症発生動向について（2023年第18週～21週・5月）

<全数把握対象疾患>

- 一類感染症の報告はなかった。
- 結核は20例の報告があった（前年比：89.9%，2019年比：61.3%）。高齢者および若年層の2峰性分布に変化はなかった。
- 三類感染症の報告はなかった。
- 四類感染症の報告は全てレジオネラ症（6例）であった（前年比：93.8%，2019年比：100.0%）
- 五類感染症
 - ✓ 後天性免疫不全症候群は4例報告された（前年比：400.0%，2019年比：200.0%）
 - ✓ 侵襲性肺炎球菌感染症は2例報告された（前年比：187.5%，2019年比：48.4%）
 - ✓ 梅毒は9例報告された（前年比：140.0%，2019年比：233.3%）。

<定点把握対象疾患>

- 前月と比較し増加傾向にある疾患
 - ✓ RSウイルス感染症（前月比：227.5%，2019年比：964.9%）
 - ✓ 咽頭結膜熱（前月比：170.9%，2019年比：118.8%）
 - ✓ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（前月比：177.5%，2019年比：77.5%）---全国よりやや少なめ
 - ✓ 感染性胃腸炎（前月比：152.5%，2019年比：175.0%）---全国よりやや多め
 - ✓ ヘルパンギーナ（前月比：550.0%，2019年比：309.8%）---全国より少なめで総数も少ないが流行に移行か？
- 新型コロナウイルス感染症は、1044例報告された（週あたり定点3.5-4.7）。

2 検討すべき課題

<事務局から>

- 最近の各種感染症流行に対する予防啓発の手法について

3 その他（感染症対策推進課から）

- 感染症の流行状況に関する警報等の公表について
- 梅毒感染対策に関する注意喚起情報の県ホームページへの掲載について
- 岐阜県感染症予防対策協議会（感染症発生動向部会）の今後の進め方について
- 麻しんの国内における感染伝播事例を踏まえた麻しんの定期的予防接種の勧奨等について（協力依頼）
- 感染症発生動向調査事業実施要綱の一部改正について
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）
- エムボックスに関する情報提供及び協力依頼について

<検討結果>